

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーの心で
友情を深めよう

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

勇気と希望をもって、
煌めくロータリーを



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

国際ロータリー会長

ゴードンR. マッキナリー

第2560地区ガバナー

米山 忠俊

高田ロータリークラブ会長

山田 守

幹事 吉田 巧

広報・会報・雑誌委員会：

細野仁・山本 陽・大島 誠・林 泰成

第 1 回例会 7月7日(金)

No.1

会長挨拶 ●山田 守



初例会に多くの会員の皆様からご出席頂き有難うございます。1年間吉田幹事共々宜しくお願いいたします。

昨年度のRI会長ジェニファー・ジョーンズさんのテーマは「イマジンロータリー」でした。この方はメディア出身で、ジョン・レノンを思い出させるようなフレーズで良かったと思います。昨年来日した際には、会員全員でイマジンを合唱して、ご本人が感懐したと「ロータリーの友」に掲載されていました。また、ロータリーに女性会員が認められたのは1989年ですが、30数年で初めての女性会長でした。

今年度のRI会長マッキナリーさんの出身はアイルランドで歯科医をされてるそうです。テーマは「世界に希望を生み出そう」で、ロシア、ウクライナの戦争そしてアフターコロナでの対応を課題にして「平和の推進」「メンタルヘルスへの取り組み」を掲げています。地区のテーマは「ロータリーの心で友情を深めよう」です。特に継続する事が重要として、会員及び女性会員の増強に力を入れていきたいと訴えています。

これを踏まえて当クラブのテーマはRI会長の「希望」をいれさせて頂き「勇気と希望を持って、煌めくロータリーを」にしました。煌めくとはキラキラと光り輝く事です。期待感をもって前に進まない時代ですが、未来への希望は必要です。皆様のご協力をお願いします。

さて、今日は7月7日、七夕です。一年に一回、織姫と彦星が会える日です。こと座のベガが織姫、わし座のアルタイルが彦星です。これに白鳥座のデネブを加えたものが「夏の大三角」です。一番明るいのがベガ、南東の方向の明るい星がアルタイルでその間に天の川があります。雨が降ると二人は会うことができません。この雨を「催涙雨」といい再会が叶わなくなった二人の涙だというのが一般的です。



出席報告

出席率 97.92%

メイクアップ

吉田 巧君・川上裕一君・東野秀和君・西山要耕君・
細野 仁君 (7/6 高田 RAC 第1例会)

セレモニー



入会式：
高田さくらロータリー衛星クラブ
石塚洋一君 (資)柿屋商店代表

ニコニコBOX

会長・幹事：「ポーっと生きてんじゃねーよ。」と
言われない様に一年間頑張ります。
大谷光夫君：本日は例会に出席できず申し訳ござ
いませぬ。山田・吉田年度発足おめでとうござ
います。

幹事報告

配布物：週報No.40、クラブ協議会資料、
ロータリーの友7月号
回覧物：ガバナー月信7月号、ロータリー文庫
web サイト利用方法
報告：7月のロータリーレート 145 円/\$

クラブ協議会 ① 2023-2024 年度 会長方針・委員会事業計画発表

クラブ協議会配付資料をご参照ください。



山田会長



S A A
橋詰副委員長



クラブ奉仕 A
飯塚委員長



職業分類・ロータリー情報委員会
中田委員長



会員増強委員会
羽深委員長



会員選考委員会
本山委員長



クラブ奉仕 B
霜村委員長



プログラム委員会
佐藤勝則委員長



親睦委員会
嶺村委員長



社会奉仕委員会
細野委員長



職業奉仕委員会
佐藤 信委員長



国際奉仕委員会
齋藤委員長



社会奉仕委員会
笹川委員長



本日の食事
松花堂弁当



S A A

委員 長 牧野章一
副 S A A 橋詰敏一・小池猛紀・齋藤俊幸

※運営方針

- ・礼節のある例会をもって、会長テーマ「煌めくロータリー」を体現する。
- ・好意と友情を深める例会前の交流、親睦を深める食事での会話等を楽しめる環境づくりをします。

※事業計画

1. 12時より開場しお茶のセルフサービスを継続します。
2. 季節や地域性物語性のある食事（通常食・ミリオン含め）を提供します。メンバー慶事日はカレーを初めとする単品料理とします。
3. 出席ニコニコ BOX 委員会の協力を得て、当日欠席によるフードロスの解消（※）、また、親睦委員会の協力の基でセレモニー会員を前列のテーブルに案内（タイムロスの改善）する。
－会長方針「活動を簡素化する」の実践－
4. 「くじ」によるテーブル指定を毎月 1 回行い、会員交流をはかります。
5. 新井妙高 RC, 高田東 RC, 高田 RC 3 クラブ合同例会の主幹を務めクラブ間交流をはかります。
（開催予定 3 月 8 日（金））

（※）出席の変更は、水曜日午前中までに事務局へご連絡ください。

クラブ奉仕 A

委員 長 飯塚宏佳

※運営方針

高田ロータリークラブの未来に会員の増強が必要と思います。
昨年度より衛星クラブへの入会勧誘を行っており、今年度も引き継いで進めることにより、衛星クラブの増強ひいては当クラブ増強に繋いでいければと思っております。
職業分類・ロータリー情報、会員増強、会員選考、衛星クラブの 4 委員会と協力、連携し活動していきたいと思えます。

職業分類・ロータリー情報委員会

委員 長 中田 正
副委員 長 高橋正彦
委 員 大島 誠

※運営方針

山田会長のテーマ「勇気と希望をもって、煌めくロータリーを」実現できるように若い世代、女性の会員も増強し、多様な会員同士の盛んな交流ができるよう努めます。

※事業計画

1. 新会員には現会員 1 名をサポート者として指名し（紹介者等）、例会や行事に参加しやすい環境を作り、会に定着できるように努めます。
2. 新会員を中心に入会 3 年未満の会員を対象としたファイヤーサイトミーティングを開催し、ロータリーの理解を深めます。（衛星クラブも含みます。）
3. ロータリーの最新情報（RI 規定の変更等含む）を適時提供します。
上期・下期に会員増強委員会、会員選考委員会、衛星クラブ委員会と連携を図り、職業分類の現状を確認します。

会員増強委員会

委員 長 羽深耕時
副委員 長 高橋正彦
委 員 山田 守・吉田 巧

※運営方針

山田会長テーマ「勇気と希望をもって、煌めくロータリーを」を基本とし、特に女性会員の増強に努め煌めくロータリーを目指します。
会賞選考、衛星クラブとの連携を密にして会員拡大と退会防止に努めます。

※活動方針

1. クラブ奉仕 A の 4 委員会の合同委員会を開催致します。
2. 会員増強月間等を通じ会員の皆さんに候補者の推薦をお願いいたします。

会員選考委員会

委員 長 本山秀樹
副委員 長 大谷光夫

※運営方針・選考基準

クラブ奉仕 A の各委員会と連携を密にし、特に会員増強委員会と協力しながら「若い世代、女性会員」の情報収集、増強に努め、選考基準に基づき会員選考を行います。
歴史と伝統ある高田ロータリークラブの会員として相応しいかどうか、現会員と楽しくロータリー活動が出来るかどうかを選考基準にしたいと考えます。

衛星クラブ委員会 委員長 山崎公一
副委員長 飯塚宏佳

※運営方針

設立4年を向かえた高田さくらロータリー衛星クラブの活動更なる活性化と会員増強及び次期ロータリアンとして意識醸成を目指す。

※事業計画

衛星クラブ会員一人ひとりが入会して有意義であると感じてもらえる活動活性化への支援

- ・会員増強による組織規模の拡大
- ・衛星クラブ単独事業の実施とその支援（SNS等での活動発信含む）
- ・月1回の合同例会以外のメイクアップを増加（夜例会も含む）
- ・ファイヤーサイドミーティング等ロータリー研修・大会等親会行事への積極参加
- ・衛星クラブ会員による親クラブでの卓話実施
- ・ロータリーファミリー一体感醸成を目的としたローターアクトクラブとの世代間交流

クラブ奉仕B 委員長 霜村 浩

※運営方針

山田会長テーマ「勇気と希望をもって、煌めくロータリーを」を基に、出席・ニコニコBOX、プログラム、親睦、広報・会報・雑誌の4委員会を支援し、メンバーの皆さんが積極的に参加し未来に希望を持てるよう協力していきたい。

※事業計画

前期、後期に各1回、合同委員会を開催する。

出席・ニコニコBOX委員会 委員長 石倉 悟
副委員長 出澤英則
委員 渡邊 隆・小柳勝司

※運営方針

- ・出席はロータリアンにとって基本です。親睦を深め、友情の輪が結ばれるような魅力的な例会になるよう各委員会と連携をとっていききたいと思います。
- ・ニコニコBOXは、社会奉仕の重要な財源となるよう、会員に積極的な協力をお願いしていききたいと思います。

※事業計画

- ・楽しい例会にする為に、親睦、プログラム両委員会と協力する。
- ・長期欠席者へのフォローアップ。
- ・例会欠席の際の早期連絡の周知。
- ・社会奉仕委員、親睦委員会とオークションの合同開催。

プログラム委員会 委員長 佐藤勝則
副委員長 星 則雄
委員 藤林陽三・霜村 浩・廣田 徹

※運営方針

RIのテーマである「世界に希望を生み出そう」の実現に近づくためには、さまざまな分野の「今」を知る必要があります。

ロータリークラブには多分野の仲間が集い、それぞれに広い見識と豊かな人脈を築いてきていると思います。自分とは違った分野の話聞いて理解していくことは、会員相互の視野を高めることにつながり、会員同士の理解を深めるのではないのでしょうか。まさに、地区テーマの「ロータリーの心で友情を深めよう」につながっていくのです。

特定の活動にとらわれず、会員を含めたあらゆる分野から講師を招き、楽しく明るい「煌めくロータリー」を身近に感じられる卓話を目標にしたいと考えています。

※事業計画

- 1、会員の卓話を増やします。
- 2、衛星クラブ会員の卓話の機会を設けます。
- 3、さまざまな分野の卓話の設定を心掛けます。
- 4、ロータリー月間のテーマに合わせた卓話について、各委員会に協力を要請します。
- 5、全会員に講師の推薦を募ります。

親睦委員会 委員長 嶺村 武
副委員長 加藤公一
委員 横山修一・山本 智・遠藤正義・渡邊茂雄・庭野純志・宮下啓三

※運営方針

会員同士の親睦を深める為に「楽しく、和やかに」を基本に親睦例会を年6回実施する。

※事業計画

- 1、年間6回の親睦例会を実施
 - ①納涼(家族)会 8月18日(金) 宇喜世
 - ②お月見例会 10月 6日(金) 長養館
 - ③クリスマス(家族)例会 12月22日(金) アートホテル上越

- ④オークション 2月 9日(金) 宇喜世
 - ⑤観桜例会 4月 5日(金) アートホテル上越
 - ⑥最終例会 6月28日(金) デュオセレッソ
- 2、会員及び配偶者の誕生日、結婚記念日にお祝い品を贈呈（毎月第2週例会）
- 3、例会時におけるSAAサポート
- ①新年初例会(市長を迎えての夜例会) 1月12日(金) デュオセレッソ
 - ②3クラブ合同例会(高田・新井妙高・高田東) 3月 8日(金) デュオセレッソ

広報・会報・雑誌委員会 委員長 細野 仁
副委員長 山本 陽
委員 大島 誠・林 泰成

※運営方針

クラブメンバーに、そして地域の皆さんにロータリアンの姿を発信しよう。
それは活動の実績や成果であり、同時に喜びや楽しみの姿であった事を伝えよう。

※事業計画

1. 広報・雑誌について
 - ・当クラブHPはもちろん、地区WebサイトやSNSを効果的に利用しロータリー活動の投稿頻度を上げる。
 - ・各報道機関に働き掛け、ロータリー活動を地域に発信する。各委員会の広報活動をサポートする窓口となる。
2. 会報について
 - ・メンバーの意見を取り入れ、紙面の構成等見直しを実施する。写真や内容を再検討。
 - ・何か新しいこと（情報）を取り入れる活動・検討をする。

職業奉仕委員会 委員長 佐藤 信
副委員長 遠藤 巖
委員 西脇 薫・稲田善昭

※運営方針

社会は其々職業を糧に成り立っている、自分自身を含め職場・地域社会に対し微力でも貢献出来る啓蒙活動を行う。

※事業計画

1. 恒例の健康診断を実施
2. 地域に貢献している企業の紹介
3. 毎次での「四つのテスト」の唱和

社会奉仕委員会 委員長 笹川 裕
副委員長 釜田英一
委員 佐藤憲二・福田 聖・澤井祥典

※運営方針

会長テーマ「勇気と希望持って、煌めくロータリーを」踏まえ、地域社会に貢献する社会奉仕活動を実践します。また、ロータリー衛星クラブ、ローターアクトクラブと連携・強調し、楽しく参加できる社会奉仕活動を展開します。

※事業計画

1. 社会的弱者への理解を深め、支援となる活動を行います。
2. 社会貢献事業を実施します。
3. 毎年恒例のオークションを親睦委員会、出席・ニコニコBOX委員会と協力して開催します。
4. 上記活動をホームページに掲載したり、報道機関に取材を働きかけたりし、ロータリークラブの「公共イメージ向上」につなげる。

国際奉仕委員会 委員長 齋藤尚明
副委員長 佐藤信明
委員 石田誠夫・高坂光一

※運営方針

- ・国際奉仕の意義についてもう一度よく考えてみる
- ・他委員会との合同委員会を開催する

※事業計画

- ・地区補助金を活用して継続事業を行う（スリランカ眼科医療プロジェクト）
これは地区委員会の方針とも合致した事業である
- ・国際奉仕フォーラムデスクッションへの参加
於 2023年8月20日（日）ANAクラウンプラザホテル新潟
- ・シンガポール国際大会への参加を促す
2024年5月25日～29日 シンガポール
- ・世界平和への関与
ウクライナ支援活動への取り組み

ロータリー財団委員会 委員長 箕輪賢一
副委員長 鈴木陽一
委員 三井慶昭・高橋俊宣

※運営方針

ロータリーの意義や活動内容をより知っていただき、各種取り組みに積極的に参加していただくよう活動します。

※事業内容

1. 財団への寄付（年次基金 150 ドル・ポリオプラス 30 ドル/一人）を達成する為に会員皆様に広くお願いする。
2. 地区補助金を利用し、社会奉仕委員会・国際奉仕委員会の事業へ一緒に取り組む。
3. 衛星クラブメンバーにロータリー財団への理解を深めてもらえるようサポートする。
4. ミリオンダラーミールの複数回実施。

米山奨学委員会 委員長 原野聖子
副委員会 吉原耕一
委員 山田吉徳・高橋孫左衛門

運営方針

米山記念奨学会は、勉学・研究を志して日本に在留し学んでいる外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し、支援する奨学団体です。

2023 学年度 2560 地区受け入れ奨学生は、合計 24 名（新規 16 名、継続 8 名）、10 カ国の奨学生が、上越教育大学を含む 8 つの大学で学んでいます。

会員の皆さまに米山奨学事業について、ご理解と関心を高めていただき、寄付の増進をはかります。

事業計画

1. 米山奨学事業の意義や目的について、会員への浸透をはかります。
2. 寄付目標額 1 人 20,000 円の達成をめざします。

青少年奉仕委員会 委員長 川上裕一
副委員長 東野秀和
委員 西山要耕

※運営方針

会長のテーマ「勇気と希望をもって、煌めくロータリーを」の基に若い世代が将来リーダーシップを発揮し、地域の中心となって活躍できる人材となれるよう育成に協力致します。また、ローターアクターに活躍へのアドディアの提供など情報を積極的に伝え、活動や例会などにより成長を実感できるように関わりを支援していきます。

※事業計画

1. 青少年奉仕月間（5 月）において例会の卓話を担当します
2. アクト例会、事業へ積極的に参加し理解を深め互いに成長を目指します
3. アクトの活動状況を高田クラブのホームページに掲載し共有を図ります
4. ロータリアンとの奉仕活動・親睦等交流の場を設け互いの理解を深めます
5. IA・RYLA の事業や研修に参加すると同時にその呼びかけを行います
6. アクトの地区内・他地区との交流を支援します
7. アクト会員の増強を支援します